

6 少子・人口減少社会に対応した活力ある学校づくり支援 (活力ある学校づくり中核教員配置事業)

(1) 事業目的

少子化の進行に伴い、小・中学校の小規模化が進む中、統合を契機に一定規模の学習集団を形成し、グローバル社会への対応や郷土への愛着を育む特色ある教科の導入などにより、活力ある学校づくりに取り組む市町村を支援する。

(2) 制度の概要

活力ある学校づくりに取り組む小・中学校に対し、中核となる教員を配置する。

(ア) 対象校

次の2つの点を満たす学校を対象とする。

- ① コミュニケーション能力などの向上のため、学校統合により児童・生徒が一定規模の集団で学べる環境を実現すること。
- ② 世界や地域を見据えた特色ある教科の導入などにより、効果的な教育を行うこと。

(イ) 配置人数

統合の中心校（統合後は統合校） 1人

(ウ) 配置期間

3年間（原則として、統合前年度から統合翌年度まで）

(エ) 主たる業務内容

配置教員は、新校づくりについて以下の業務を行う。

- ① 特色ある教科などの検討・導入
(小中一貫教育・ふるさとを学ぶ新教材などの導入、地域人材の活用など)
- ② 保護者、地域に対する新校の目指す学校像や特色ある教科などの説明、意見聴取各校で実施している教育活動の統一に向けた調整。
(日課、学校行事、児童会、生徒会、部活動 など)
- ③ 児童生徒が統合による学校環境の変化に対応するための支援
(チームティーチング など)

(3) 令和4年度実施状況

(ア) 継続分

中野市 小学校 1人

諏訪市 小学校 1人

(イ) 新規分

長野市 中学校 1人

大町市 中学校 1人

佐久市 中学校 1人